

なみならぬ知恵の結晶 千枚田

黄金たなびく感謝の祈り

豊橋市 城所久弥

(投句函)



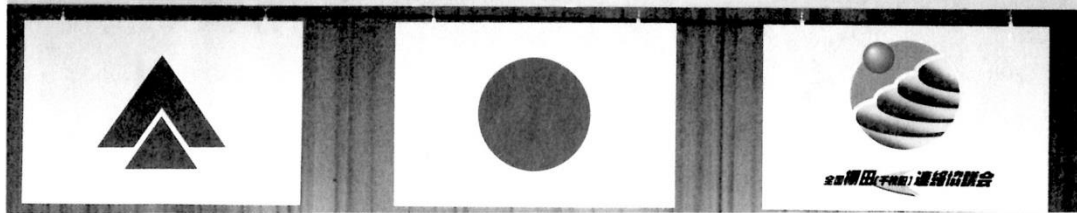
千枚田(千枚田)連絡協議会



第11回 全国棚田(千枚田)サミット



テーマ：緑と水と心のオアシス 主催：全国棚田(千枚田)連絡協議会 主管：2005第11回全国棚田(千枚田)サミット実行委員会



サミット大成功

千枚田よありがとう

皆んなよく頑張った！
携わった一人一人が
満足感・達成感を

得たなら、これ
を由としよう

連谷魂(団結)が
遺憾なく発揮され
地域の活性化に繋ぐ
大きな糧となった

「緑と水と心のオアシス」をテーマに第十一回全国棚田(千枚田)サミットが9月2日(金)～3日(土)鳳来町(四谷の千枚田)で開催され、2日間で述べ1078人の棚田関係者が参加、地元スタッフを含むと延べ1500人が取り組むという盛大な催しでした。

初日は全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会、同総会、首長会、式典後は棚田学会会長の木村尚三郎氏が「棚田は宝、棚田はいのち、愛・地球博に寄せて」をテーマに基調講演、午後は関係者たちの四谷の千枚田見学、夜は「やまびこの丘」で全体交流会が開かれました。

2日目は4分科会(既報)

が開催、午後は連谷小学校による「私たちの千枚田」と題して事例発表を、そして各分科会のまとめでは、棚田は日本人の暮らしのシンボルであり、棚田を守る住民組織が手づくりの未来を考える新しい自治である。

針葉樹の森になった水源の山が木材の需要の低迷から間伐も出来ない状況で保水力低下と山崩れなど災害が懸念され、河川の生態系まで影響が出ている。これらことから棚田の保全が森林の保護にもつながる。

「癒し」、「潤い」を与える棚田は都市住民と地域を結ぶ接点になり、過疎と高齢化に悩む地域の再生にも役立つ…などの議論に及びました。

参加者の声

○バス移動の時、地域の方々が手を振って私たちを歓迎してくれた。こんな暖かい人達だから千枚田も守られているんだなあ…
○地元の方々の献身的なお持てなしに感激した。

○見学会から：棚田を中心にコミニティが生まれるんだ、空気がきれいだから地元の人達の肺もきれいなんだ。等々

開催中はお天気に恵まれ、参加した方々に喜んで戴き、地元の我々も心地よい達成感を得ることができました。
鳳来町最後のピクニック、サミット成功への「黒子」として町職員の皆さんの献身的な働きに、心からお礼を申しあげます。



九六鍬サの実演



代かきの実演

サミットあらかると



事例発表(現地)



田植えの実演



湯茶の接待



昔の脱穀



稲刈り体験



次期開催は宮崎県 坂元の棚田

第11回 全国棚田(千枚田)サミット交流会

来年は宮崎県日南市 ちゅっどー!



地元による「はねこみ」



つきたての餅をどうぞ

発行 平成十七年九月二十日
 文責 鞍掛山麓千枚田保存会
 小山舜二

皆んな
 ありがとうさま
 やれやれだのん

 2005



また、来ておくれんのん



事例発表